

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2009 助成の概要と推薦理由

助成番号 09-1-4

---

プロジェクト名 闘病中の子どもたちに明るい笑顔を届けるホスピタル・クラウンの育成  
団体名 特定非営利活動法人 日本ホスピタル・クラウン協会  
代表者名 大棟 耕介  
所在地 愛知県  
助成額 175万円  
助成期間 2009年10月1日～2010年9月30日  
設立年 1995年  
URL <http://www.hospital-clown.jp>



入院中の子どもは、治療への我慢、やることのない退屈さ、病気への不安などのストレスを抱えており、ホスピタル・クラウンの定期的な訪問は、そのような子どもに楽しみによる発散と「こんど」への希望を与え、明日につながる楽しい時間を与えている。また彼らの存在は、病院全体の色をふわっと明るく暖かくすることがあり、子どものみならず付き添う親や看護師、医師のメンタル・ケアにも貢献していると言われている。さらに、長期療養の子どもは家族や医療関係者以外とのコミュニケーションの経験が少ないことから、外部からの訪問者とのやりとりを通じた貴重な社会性のトレーニングの機会にもつながっている。

本団体は1995年から、このようなホスピタル・クラウンを病院に定期的に派遣することにより、子どもたちに笑いで心を癒し、生きる元気を届けることを目指した活動を行ってきた。現在約40人のクラウンが約30病院を訪問している。また海外ではチェルノブイリの病院訪問も行った。

今回の助成では、増え続けている病院からの訪問依頼に対応できるよう、ホスピタル・クラウンを育成したいという活動を応援する。特にホスピタル・クラウンにはクラウンとしての技術に加えて、病院という環境の中で活動するための病気や病院に関する基本的知識や子どもとのコミュニケーション力、経験を通じた細かな配慮が求められる。今回の研修を通じて新たなホスピタル・クラウンが誕生し、より多くの子どもたちに笑顔を届けてくれることを期待し、助成することとした。